

3 月定例会議の振り返りについて

1 趣 旨

総務経済常任委員会及び厚生文教常任委員会における「3月定例会議の振り返り」（参考資料「2-2」「2-3」参照）の中で、「議会運営全般に関する検討」及び「その他（定例会議を通じて改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など）」に整理された事項について、議会運営委員会として対応を整理するもの。

2 「議会運営全般に関する検討事項の振り返り事項」及び「対応案」

- (1) 単年度の予算審査のみでは、事業の成果や継続性を十分に検証することが難しく、議会としては、事務事業評価や実行計画との連動を図りながら、継続的に政策を検証する仕組みについて、検討する必要がある。（総務）

→ 令和8年度議会活性化計画主要事業において取組みを検討する。

- (2) 財政状況への関心が高まる中、議会としても財政指標や将来負担の状況を共有し、政策判断の基準となる情報を整理することが重要である。（総務）

→ 令和8年度議員研修計画において取組みを検討する。

- (3) 芽室町議会会議条例等運用規則の運用について、全議員の共通認識を図る必要がある。（厚生）

ア 第19条 「質疑に当たっては、一問一答方式により行う。」

イ 第23条第2項

「次に掲げる発言は、自席において行うものとし、議員については、自己の議席番号を告げた後に発言する。」

→ 令和8年度議員研修計画において取組みを検討する。

→ 本会議及び各委員会の議事において、長の議事整理により適正な運用を行う。

3 「その他（定例会議を通じて改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など）の振り返り事項」及び「対応案」

- (1) 現在、一般質問は予算決算特別委員会の後に実施されているが、予算審議（決算審査）が先行することにより、本来、一般質問で取り上げるべき内容（例えば財政全般、維持管理費等に関わることなど）が委員会において先に質疑されてしまい、結果として町の見解について議論しづらい状況が生じている。また、総論や町の基本的な考え方を十分に議論しないまま、予算審議に入ることは、論点の整理という点でも課題があると考え。こうした状況を踏まえ、予算及び決算を審議・審査する3月及び9月の議会においては、初日開会後に一般質問を実施し、その後に予算決算特別委員会を開催する日程へ見直すことを提案する。（総務）

→ 令和8年度議会活性化計画主要事業において取組みを検討する。

- (2) 自治体財政を取り巻く環境の不確実性が改めて認識された。限られた財源の中で、政策効果を最大化するためにも、事業の優先順位や財政の持続可能性を意識した政策議論がいっそう重要となる。（総務）

→ 令和8年度議会活性化計画主要事業において取組みを検討する。

- (3) 議会として、町民への説明責任を果たす観点から、議会活動の内容や議論の経過について、分かりやすい情報発信に努める。（総務）

→ 令和8年度議会活性化計画主要事業において取組みを検討する。

- (4) 新嵐山スカイパーク再生事業については、新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会の総括報告書において、所管委員会による継続調査とされたが、スキー場は社会体育施設であることから、厚生文教常任委員会委員長と協議の上、合同委員会にて継続的に調査を行うこととした。（総務）

→ 両常任委員長協議のとおり、合同委員会で継続調査することとする。